

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年3月15日

諏訪地域振興局

提出区分		実績			
整理番号		5	課題区分	C	
実施機関			諏訪地域振興局環境課		担当
事業名			霧ヶ峰自然保全再生実施計画改訂に係る草原再生及びモニタリング調査事業		所属
					電話
					E-mail
					0266-57-2952
					suwachi-kankyo@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	関係団体等と協働して草原の保全再生活動を行うことにより、諏訪地域の誇るべき自然・文化遺産である霧ヶ峰の多様な自然、美しい景観を守り再生する。			
	現状と課題	霧ヶ峰においては、近年、外来種の侵入などにより草原景観の消失や生態系の変化が懸念されているため、平成25年度に策定した霧ヶ峰自然保全再生実施計画に基づき、平成26年度から5年間の計画で外来種の駆除や優占種の刈取りの作業を実施している。本年度はその最終年度に当たるが、作業の実施には多くの労働力や経費が必要となるため、これまでの作業の効果を検証するためのモニタリング調査を実施し、より効率的な作業方法等を検討することが必要である。			
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> 霧ヶ峰自然保全再生実施計画の最終年度における草原の保全再生作業をモデル地区で実施する。 専門家によるモニタリング調査を実施し、平成26年度からの5年間に実施してきた外来種駆除や優占種刈取りの効果を検証する。 検証結果を踏まえて、より効率的・効果的な作業方法等を検討し、その結果を霧ヶ峰自然保全再生実施計画の改訂に反映する。 優占種刈取り作業の効果をより高めるため、刈払い機を購入し、早春の3月にササの刈取りを行う。 			
	事業期間	平成30年4月		～	平成31年3月
	成果目標 (成果指標)	これまでの5年間の作業の効果を検証し、その結果を踏まえて霧ヶ峰自然保全再生実施計画を改訂することにより、貴重な霧ヶ峰の草原景観の維持再生に資する効率的・効果的な作業の実施が可能となる。			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	霧ヶ峰自然保全再生実施計画改訂に係る草原再生及びモニタリング調査事業	モニタリング調査	1,358,510		
	合計		1,358,510		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	<p>モデル地区における外来種駆除及び優占種刈取り作業は地権者や一般ボランティアなど延べ379人により、外来種4.3tの駆除と優占種3haの刈取りを実施した。</p> <p>モニタリング調査については、信州大学教授等の調査員(2名)が計144.5時間、学生補助員(4名)が計18日実施し、5年間の作業の効果を検証し、結果についてまとめを行った。</p> <p>優占種刈取り作業の効果をより高めるため、早春の3月にササの刈取り作業を行った。</p>		<p>検証の結果、外来種は、5年間の継続的な作業の効果により減少傾向が見られるが、繁殖力が強く根絶に至らない種が依然として見られる状況である。優占種の刈取りでは、電気柵内のニッコウザサの刈取りを継続して実施したことによりニッコウザサの優先度が下がり、ニッコウキスゲが多数開花し、多様な高山植物が復活するなど成果が見られた。</p>		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	これまでの5年間の作業結果の検証を踏まえ、より効率的・効率的な作業方法に見直した上で、必要な箇所について、外来種駆除、優占種刈取りの作業を5年間程度継続して実施する。				